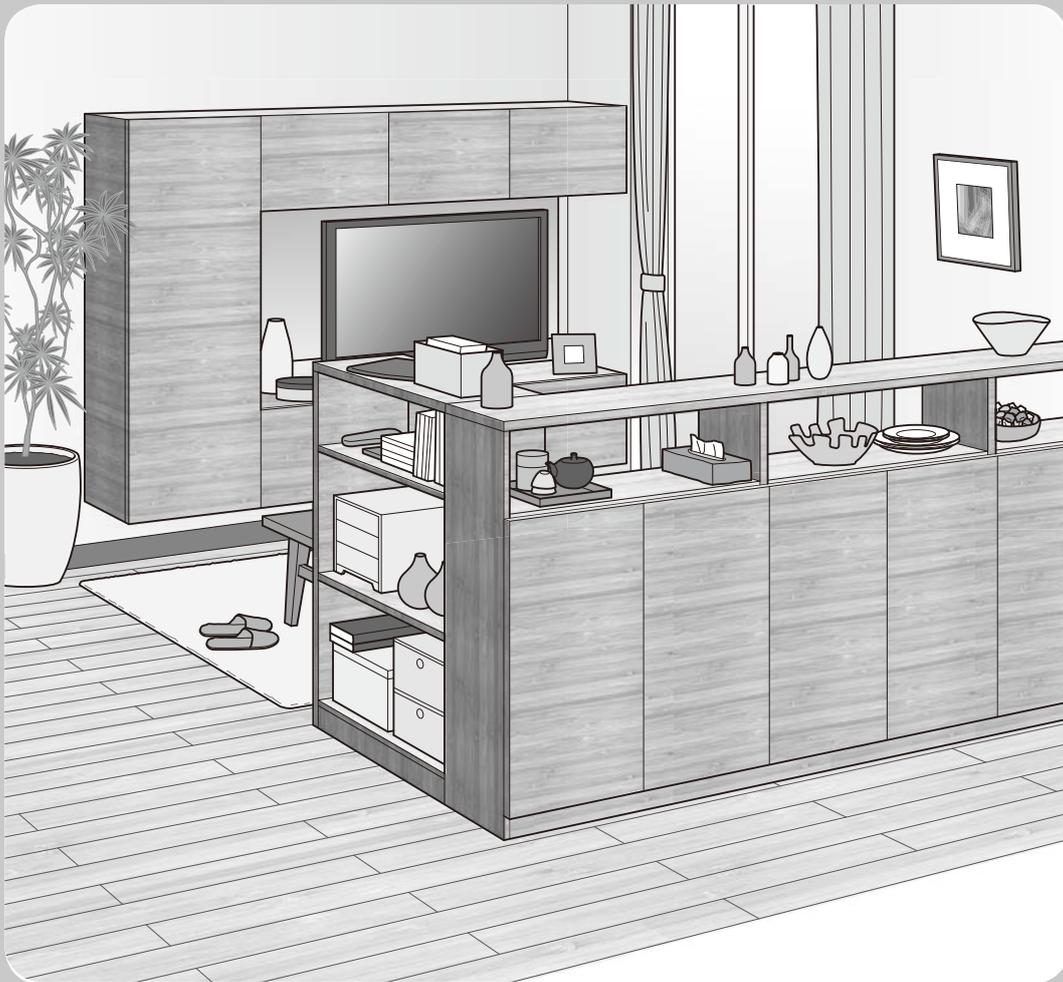


## インテリア建材 **ヴィータス**

### 取扱い説明書



#### ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。  
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

# 目次

■重要なお知らせ	2
■警告用語の種類と意味	3
■特に注意していただきたいこと	3~9
■お手入れ方法	9~10
■調整方法について	11~14
■アフターメンテナンスについて	15
■商品保証について	16

## 重要なお知らせ

### ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。

従って、「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。

2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。

### お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとするとうる落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店又は、当社お客様相談センターまでご相談ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	☎ 0120-413-433

# 警告用語の種類と意味

●この「取扱い説明書」では、危険度(又は事故の大きさ)によって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

用語	意味
<b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
<b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
<b>お願い</b>	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障等につながる場合があります。

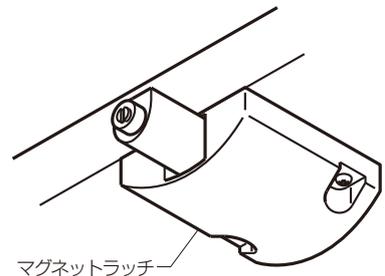
## 特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

### プッシュオープン扉(マグネットラッチ)

#### 警告

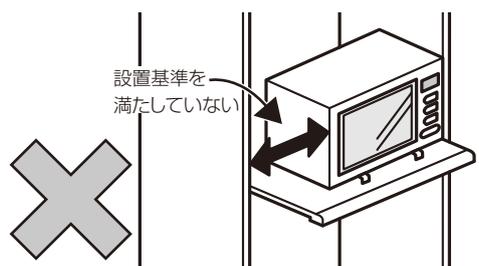
- マグネットラッチから30cm以上離れて操作および使用してください。  
心臓ペースメーカーを装備されている方は、接近して操作されると誤作動をまねくおそれがあります。その他医用電子機器類に関しても影響を与える場合があります。各機器メーカー又は販売者にご確認ください。



### 家電専用キャビネット・コンセント

#### 警告

- 家電製品を収納される際は、その製品の設置基準を満たしているか、ご確認の上で使用ください。火災の原因になるおそれがあります。
- 電源コンセントの表示容量(ワット)をこえる電気器具を使わないでください。たこ足配線などで表示容量をこえると、発熱により火災の原因になるおそれがあります。
- コンセントにゴミやホコリが付着しないように、定期的に掃除をしてください。火災・ショート・漏電・感電のおそれがあります。

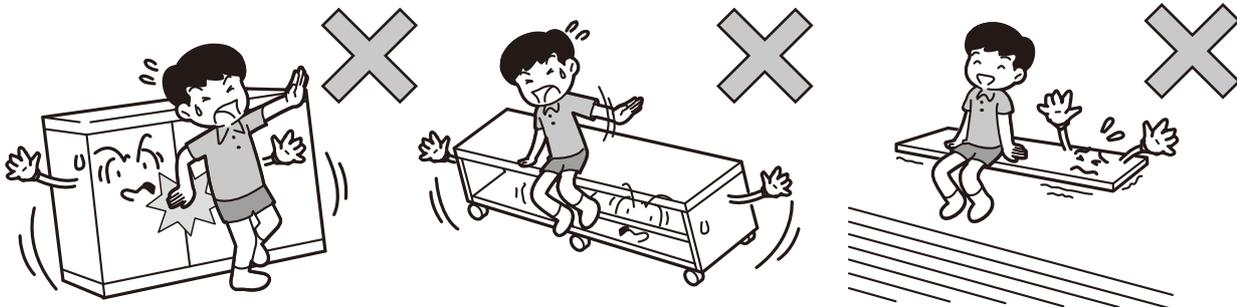


# 特に注意していただきたいこと

共通

## ⚠ 注意

- 製品にぶら下がったり、もたれかかったり腰かけたりしないでください。  
製品が倒れケガをするおそれがあります。



### 開き扉・引出し・フラップ扉

お願い

- 扉の開閉にあたっては、丁番側のすき間に手を置かないでください。  
指を挟んでケガのおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

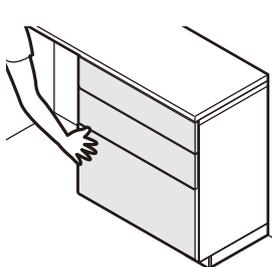


- 扉の開閉にあたっては、必ず把手または扉に手を添えて操作してください。

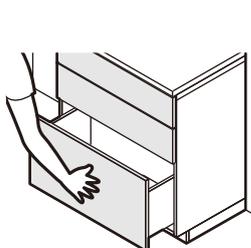
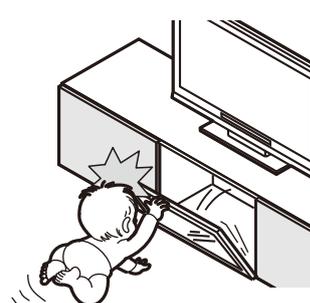
把手または扉から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉とキャビネットの間で指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。

また、プッシュオープンの場合でも扉から手を離して扉を開けると扉が勢いよく開き、ぶつかって思わぬケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

- プッシュオープン扉（フラップ扉・引出し）の開閉は扉中央付近で操作してください。  
扉の端部で操作すると扉が開かない場合があります。開き扉は戸先側で操作してください。



引出し端部を押す＝開かない



引出し中央部を押す＝開く



※中央（開き扉は戸先）を押しても扉が開かない場合は、下記の調整を行ってください。

- ・フラップ扉／開き扉の場合・・・【P.12】“マグネットラッチの調整”
- ・引出しの場合・・・【P.13】“引出し前板高さ・傾き調整” “扉とキャビネットのチリ調整”

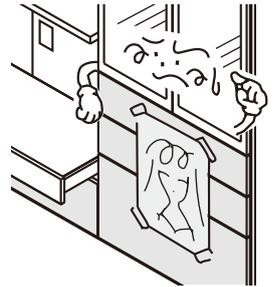
## 共通

### お願い

- 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。  
ソリ・変色などの原因になります。



- 扉やキャビネットに粘着テープでポスターなどを貼らないでください。  
表面が傷むおそれがあります。



- シート表面に水・油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶、その他の酸性 / アルカリ性の液体などがかった場合は、すぐに拭き取ってください。  
放置すると、表面がふくれたり、シミ・変色が発生したり臭いが残ったりするおそれがあります。

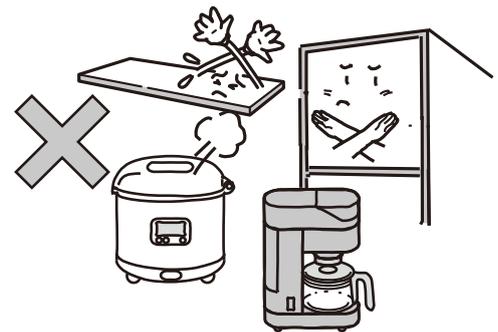


- 水にぬれた場合は、速やかにふき取るようにしてください。  
長時間ぬれたまま放置すると、ひび割れ・ソリ・変色などの原因になります。



- 刃物など先のとがったものや硬いものでひっかかないでください。  
キズが付きます。
- コンセントに電化製品（電気ポット・炊飯器など）の水蒸気が直接あたらないようにしてください。  
ショート・発火の原因となります。

- 木製部分に電化製品（電子レンジ・炊飯器など）の熱や水蒸気があたらないようにしてください。  
電化製品を収納内部にいたまま使用しないでください。ソリや変色の原因になります。  
(家電専用キャビネットにスライド棚板を使用時のみ、棚板を引き出すことで電化製品をご使用いただけます)



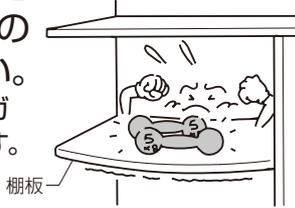
- 家電製品をのせる場合は、必要設置寸法（家電に付属の取扱い説明書などに記載）を必ずご確認ください。
- 強酸、強アルカリ、有機溶剤を収納しないでください。  
金具にサビが発生するおそれがあります。
- 収納棚を汚れたままにしないでください。  
腐食やカビの原因になります。

# 特に注意していただきたいこと

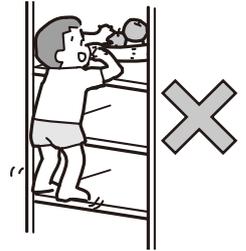
## 共通

お願い

- 各製品の耐荷重をこえる収納物をのせないでください。製品が破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。



- 棚板に足を掛けたり、ハンガーパイプやスライドランドリーバー、ハンガーバーにぶらさがったり、よじのぼったりしないでください。製品が破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。



## ■耐荷重

- 耐荷重は均等に物を載せた場合を示します。また、耐荷重とは安全に物を載せるための重量であり、たわみが出ない基準ではありません。

各部材耐荷重	
固定棚板※	20kg【30kg】(5kg) / 枚
可動棚板・配線棚板※	10kg【20kg】(5kg) / 枚
地板※	20kg (5kg) / 枚
樹脂棚板	8.5kg/枚
ベースキャビネット天板	下表①
カウンター収納天板	50kg/枚
デスク用カウンター	50kg/枚
カウンター	下表②
レンジ用棚板	30kg/枚
スライド棚板	15kg/枚
ランドリー用引出し	13kg/set
引出し	10kg/set
ハンガーバー	10kg/本
スライドランドリーバー	10kg/本
スライドパイプ	5kg/本
一枚棚	8kg/m

※棚板・地板の耐荷重はD300/430を示します。

【】内は棚板補強金具を付けたとき、()内はD130を示します。

棚板補強金具はD130およびフロート納まりには使用できません。

## ■棚板取付け可能段数

製品種類	製品高さ	棚板取付け段数
ウォールキャビネット	932mm 以下	3 段まで
ベースキャビネット	964[1028]mm 以下	
カウンター収納キャビネット	836mm	4 段まで
	1078mm	
ツールキャビネット	① 1540[1604]mm 以下	5 段まで
	② 1572[1636]～2308[2372] mm	8 段まで

※[]内は地板なしキャビネットの場合を示します。

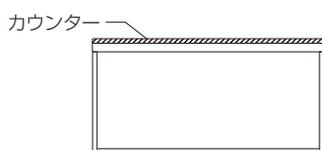
## ■①ベースキャビネット天板耐荷重 / 枚

キャビネットW	W04	W055	W08	W11	W12	W135	W16	W165	W20	W22	W24
床置き	50kg			90kg							
フロート	50kg						フロート対応不可				
キャスター付	キャスター対応不可						90kg				

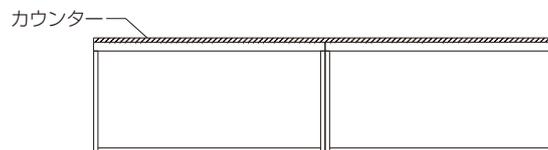
## ■②カウンター耐荷重 / 枚

カウンターW	W04	W055	W08	W11	W12	W135	W16	W165	W20	W22	W24
床置き	50kg			90kg							
フロート	50kg						フロート対応不可				
キャスター付	キャスター対応不可						90kg				

※1つのキャビネットに1枚のカウンターの場合も、複数キャビネットに1枚のカウンターの場合も耐荷重は同じです。



1つのキャビネットに1枚のカウンター



複数のキャビネットに1枚のカウンター

## ウォール・ツール・ベースキャビネット

天板(ベースキャビネット以外)  
20kg (5kg)

棚板  
可動棚板/配線棚板  
:10kg (5kg)  
固定棚板:20kg (5kg)

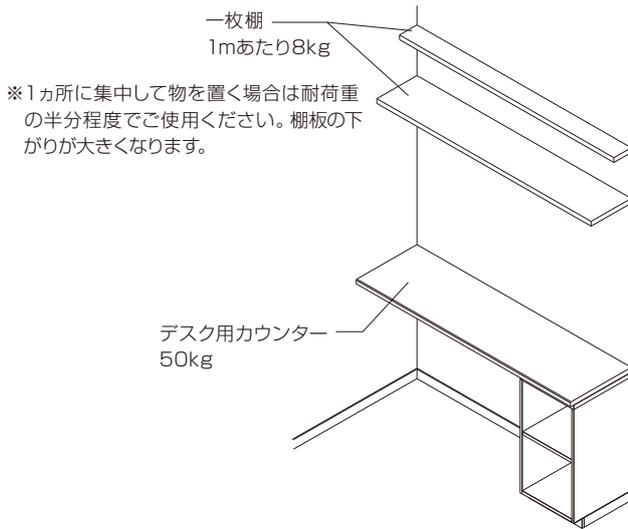
天板(ベースキャビネット)  
※①参照

棚板補強金具

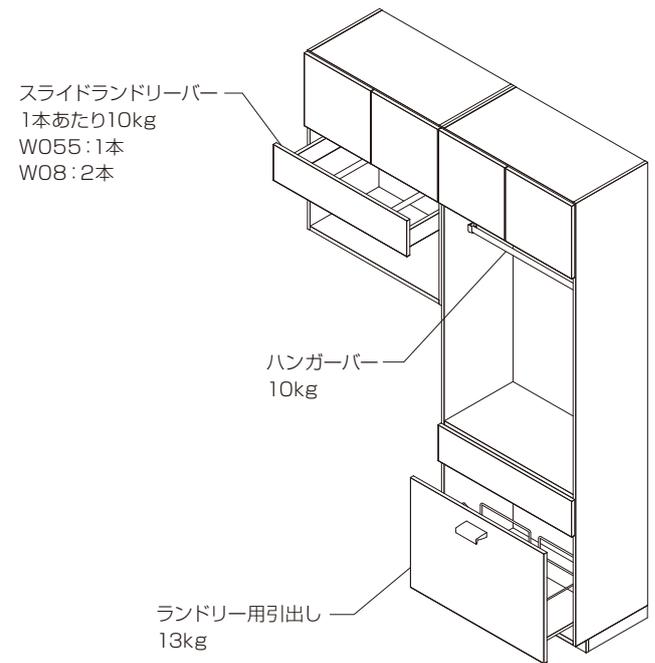
地板  
20kg (5kg)

※上記はD300/D430の耐荷重を示し、()  
内はD130の場合の耐荷重を示します。

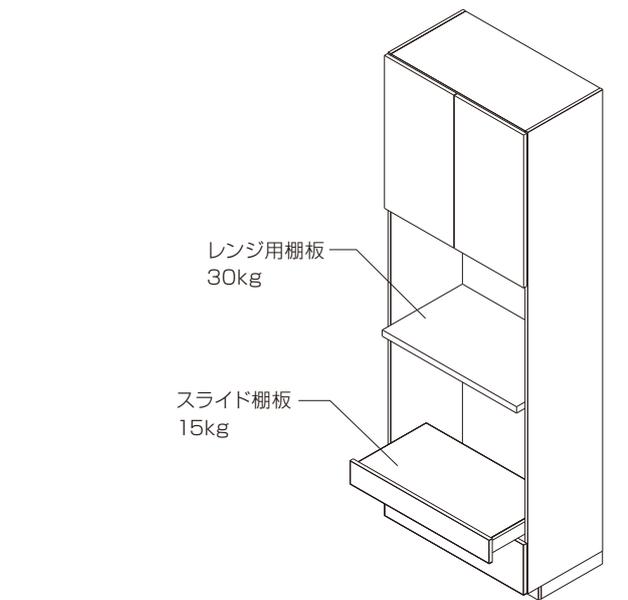
一枚棚 / デスク用カウンター



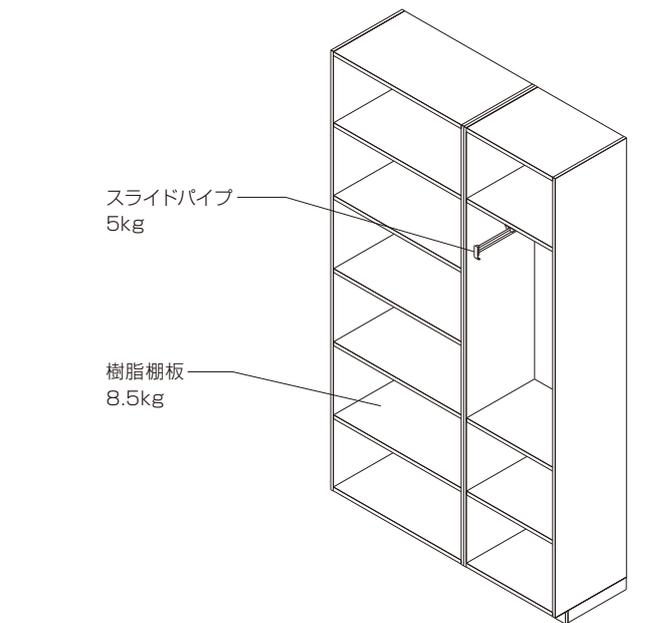
スライドランドリーバー / ハンガーバー / ランドリー用引出し



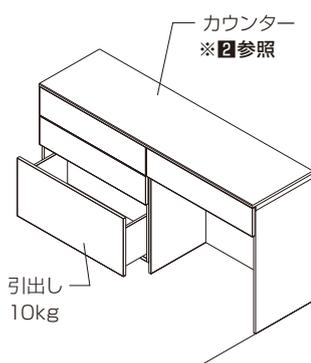
レンジ用棚板 / スライド棚板



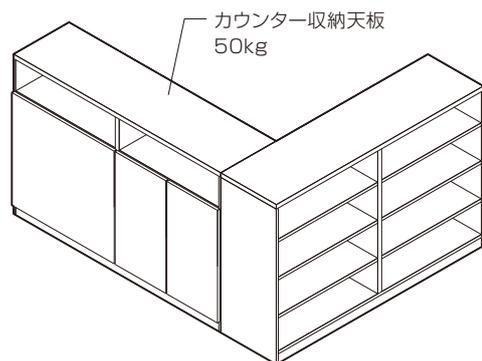
スライドパイプ / 樹脂棚板



カウンター / 引出し



カウンター収納

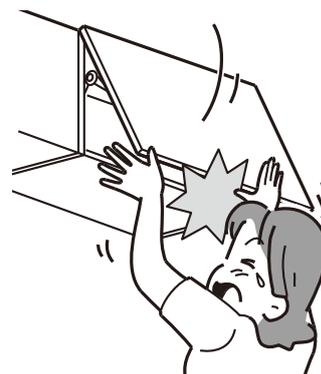


# 特に注意していただきたいこと

## フラップ扉

### お願い

- H04 ステーは長期間使用しているとブレーキ調整がゆるんでくる場合があります。定期的に調整してください。左右2カ所にステーがある場合は必ず左右両方を調整してください。片側がゆるんだ状態で開閉を繰り返すと音なりなど作動不良の原因になります。



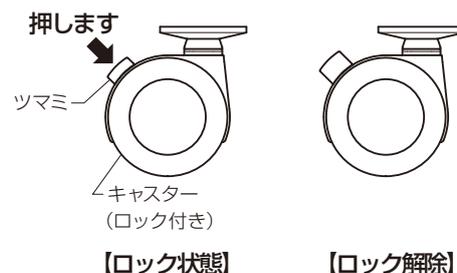
## キャスター付キャビネット

### お願い

- キャスター付キャビネットはオープンまたは引出し (D300) 用のみでご使用ください。  
※開き扉、フラップ扉、引出し D430 用は転倒のおそれがあるため、取付けてご使用にならないでください。
- キャスターを取付けしたキャビネットの移動はキャスターのロックを外してから移動してください。床を引きずってキズがつく原因になります。
- キャスター付キャビネットは床表面にへこみやキズが生じる可能性があります。  
気になる場合は市販の硬い緩衝材を敷いてご使用ください。ただし、ゴム等の素材によっては、床面に跡が付いたり、変色等を起こすものがありますのでご注意ください。

### ■キャスターのロック解除方法

- 矢印のようにツマミを押すことにより、ロックの施解錠ができます。



## アルミ扉

### お願い

お手入れは以下の要領にて行ってください。表面キズの原因となります。

- 土埃など硬いゴミが付着している場合は、水を十分に含んだ柔らかい布で表面を濡らしながら軽くゴミを流し落としてください。
- 柔らかい布、または柔らかいスポンジを用いて、ぬるま湯で薄めた中性洗剤で洗浄してください。
- 中性洗剤が付着した表面を水を十分に含んだ柔らかい布で軽く、拭き取ってください。
- 最後に柔らかい布で完全に水を拭き取ってください。

## 樹脂製棚板

### お願い

- 樹脂棚板は水洗いすることができます。ただし、棚板に挿入されている鉄芯に水がかからないようにしてください。また、水洗い後は必ず陰干しをして完全に乾かしてから取付けてください。

サビやカビの発生および変形・変色などの原因になります。

## モイス

### お願い

- 表面に付着した汚れをそのままにしておくと、内部に染み込み乾燥して落ちにくくなるため、日常のお手入れを定期的に行ってください。
- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布、または化学ぞうきんでから拭きしてください。
- ホコリやゴミは、乾いたきれいな布で払い落としてください。
- ひどい汚れ、または落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー、ベンジン)などは絶対に使用しないでください。
- モイスは多孔質セラミックス素材でできており、水をよく吸収する性質を持っていますので、水洗いはしないでください。



# お手入れ方法

## 製品の表面など(木目・アクリル系パネルなど)

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布または化学ぞうきんでから拭きしてください。
- ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)などは絶対に使用しないでください。



## 把手など

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布または化学ぞうきんでから拭きしてください。
- ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんで拭き取ってください。



# お手入れ方法

## モイス

- 落としにくい汚れは、次の方法で落とすことができます。そのままにしておくこと次第に除去しにくくなりますので、汚れが付いたらすぐに落してください。

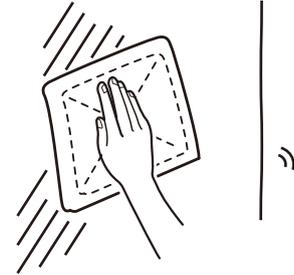
### 鉛筆

- 鉛筆汚れはプラスチック消しゴムで落せます。



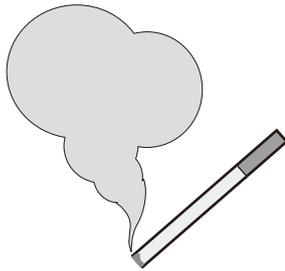
### ジュース・調味料

- 汚れが染み込む前に、水を含ませたきれいな布、または、ティッシュペーパーなどでできる限り拭き取ってください。それでも汚れが気になる場合はきれいな布に台所用中性洗剤を含ませ、絞ってから汚れた部分を拭いた後、清水でかたく絞ったきれいな布で表面に残った洗剤分を拭き取ってください。



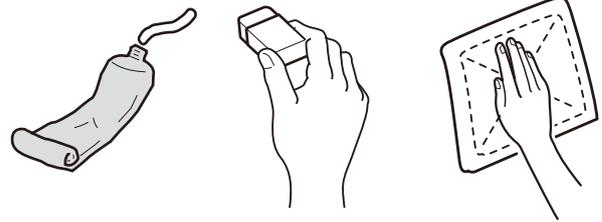
### たばこのヤニ

- クロスや木材に比べて、モイスはヤニが付きにくく、目立ちにくいですが、喫煙頻度に応じてかたく絞ったきれいな布で軽く拭いてお手入れすることをおすすめします。



### 歯磨きペースト

- まず付着した歯磨きペーストを歯ブラシなどでできるだけ取除いた後、プラスチック消しゴムでこすり取ってください。次にかたく絞ったぬれぞうきんで拭いた後、もう一度消しゴムでこすり取ってください。



- キズがついてしまった場合、または汚れが固着し除去できない場合には次の方法で直すことができます。

### キズ

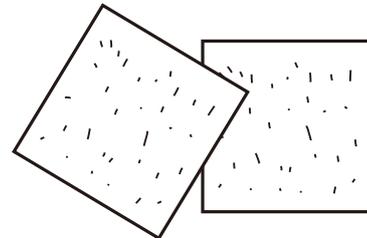
- 小さなキズは補修用パテ材でタッチアップしてください。



### ペン・マジックおよび小さな汚れ

- ボールペンやマジックなどの汚れ、水ぶきしても落ちない小さな汚れは、サンドペーパー（#60番～#80番）でこすり落してください。

注：壁表面の凹凸や外観に合わせて、ペーパー番手の選定を行ってください。除去する際は製品の研磨目に沿って、見映え良く除去してください。



### 塗装されている場合

- 使用塗料を確認の上、各塗料メーカーの指示にしたがって補修してください。

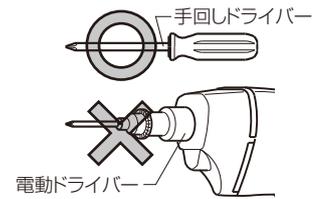


# 調整方法について

●ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、以下の要領で調整を行ってください。

## お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店または、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
- 建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。  
電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。



■調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

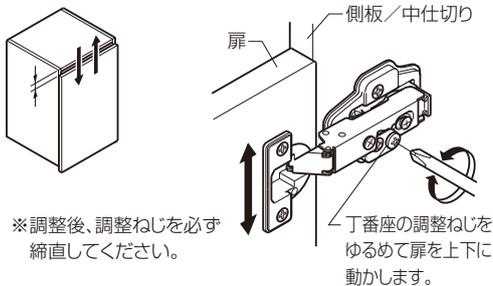
## 開き扉／フラップ扉（スライド丁番による建付け調整）

### ■上下調整

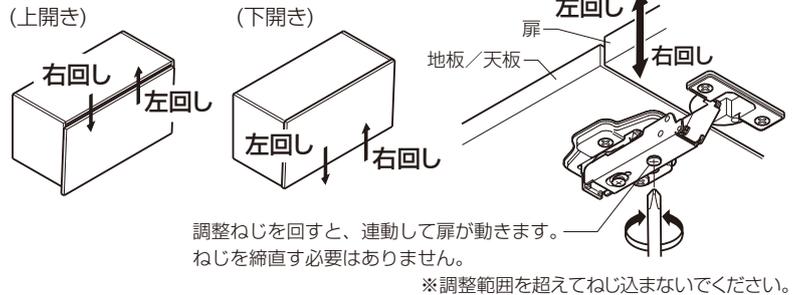
#### 【調整範囲】

	開き扉	フラップ扉
上方向	1.5mm	右回し：3mm
下方向	1.5mm	左回し：1mm

#### 【開き扉】



#### 【フラップ扉】

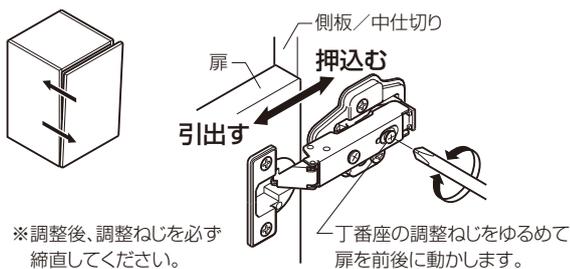


### ■前後調整

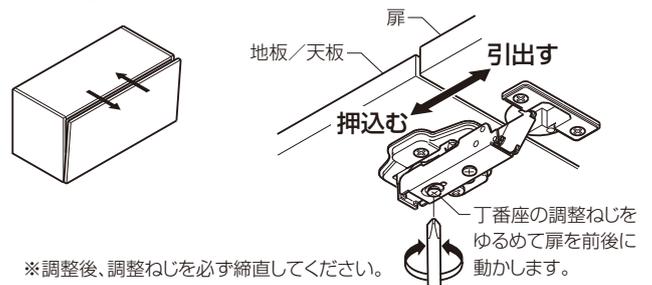
#### 【調整範囲】

	開き扉	フラップ扉
前方向	2mm	2mm
後方向	2mm	2mm

#### 【開き扉】



#### 【フラップ扉】

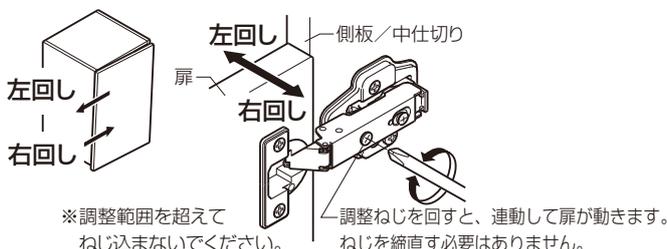


### ■左右調整

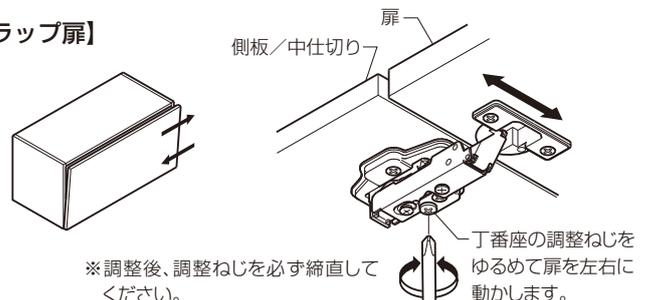
#### 【調整範囲】

	開き扉	フラップ扉
扉内方向	右回し：3mm	1.5mm
扉外方向	左回し：1mm	1.5mm

#### 【開き扉】



#### 【フラップ扉】



# 調整方法について

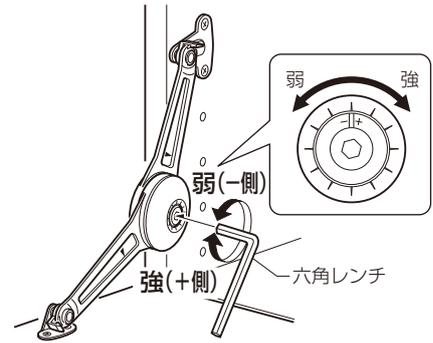
## ■フラップ扉用フラップステーの調整

ブレーキ調整がゆるんでくる場合があります。定期的に調整してください。

### 【ブレーキの強さ調整 (H04)】

#### お願い

- 必要以上にゆるめないでください。部品が破損するおそれがあります。
- 左右にステーがある場合は、両側のステーを調整してください。片側のステーがゆるい状態のまま開閉をくり返すと、扉のねじれにより音なりなど作動不良の原因になります。



※扉がスムーズに開閉するように、六角レンチ(4mm)を使用して調整してください。

## ソフトモーションの閉まり調整

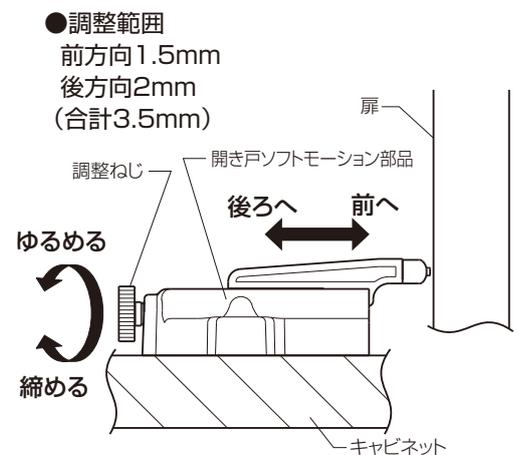
### ■ソフトモーションの調整

※ソフトモーションの調整は、本体が閉まりきらない場合に実施してください。(閉まりきらない場合、ソフトモーションを後ろへ調整します)

- ソフトモーション後部の調整ねじを手でまわし、調整してください。
- ※調整ねじを締めると前へ、ゆるめると後へ動きます。

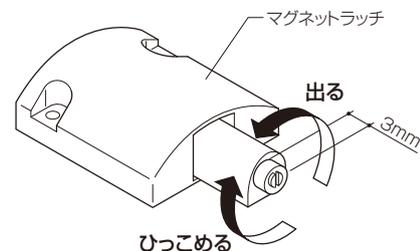
#### お願い

- ソフトモーションを前に移動しすぎると、本体が閉まりきらなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 調整ねじは必ず手でまわしてください。また、ゆるめる方向に範囲をこえて、無理に調整ねじをまわさないでください。調整ねじが破損するおそれがあります。



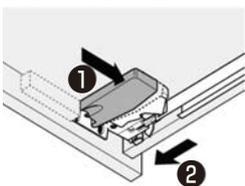
### ■マグネットラッチの調整

- マグネットラッチが作動しなかったり、キャビネットとのすき間が大きい場合は、先端を回し、前後の調整を行ってください。
- ※必ず丁番の建付け調整後に行ってください。



## 引出しの外し方、入れ方 (ソフトモーション・プッシュオープン)

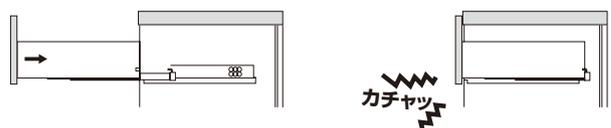
### ■引出しの外し方



引出し本体の取外し

- ①レール着脱部品のレバーを押す。
- ②引出しを外す。

### ■引出しの入れ方



引出し本体をレールにすべり込ませて取付けます。

※引出し吊込み後、3回ほど開閉を行ない、ガタツキなく取り付いていることを確認してください。

カチャッという音を確認してください。

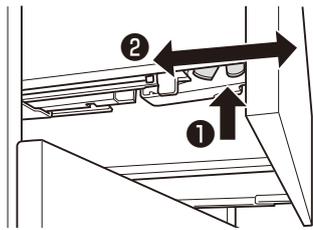
プッシュオープン引出しを押しても開かない場合は、操作方に誤り（扉の中央を押していない）があるか調整が適切でない可能性があります。操作方に誤りがない場合は、①引出し前板高さ・傾き調整および②扉とキャビネットのチリ調整を実施してください。

※①高さ・傾き調整で、引出し扉を垂直にし、高さを調整します。

②チリ調整で“+”方向に調整し、扉とキャビネットのチリ寸法を少し大きくします。調整しすぎると（他の扉が付いている場合）他の扉とチリ寸法が揃わなくなる場合があります。その場合は、他の扉を調整するか“-”方向に調整し、扉を少し戻してください。

### ①引出し前板高さ・傾き調整（ソフトモーション・プッシュオープン）

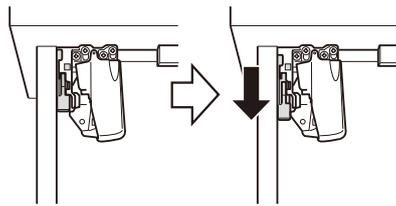
#### ■引出し前板高さ調整



高さ調整

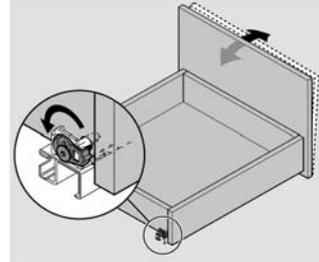
①引出しを軽く持ち上げ

②グレーの樹脂部を前後に動かすことで高さ調整ができます。



高さ+3mm

#### ■引出し前板の傾き調整



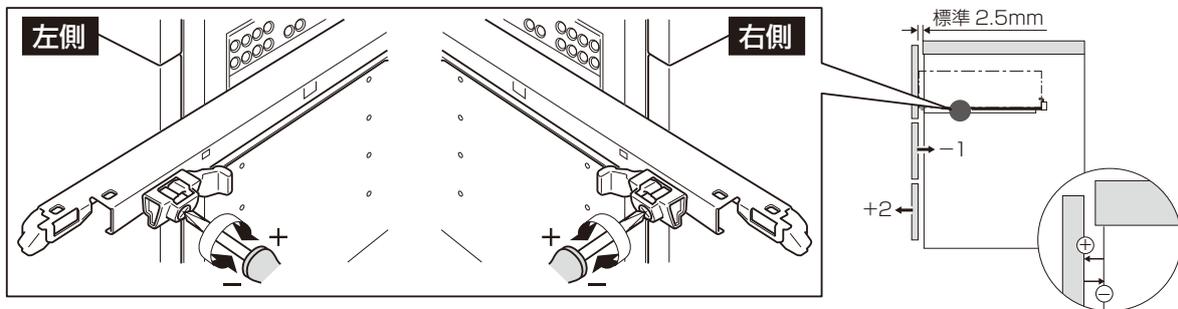
引出しレール後ろの部品を回転させることで前板の傾き調整ができます。

### ②扉とキャビネットのチリ調整（プッシュオープン）

●引出し前板とキャビネット側板のチリ寸法は左右のレールに付いている部品のオレンジ色のねじをプラスドライバーで回すことで調整できます。

※引出しを取外して調整します。

※調整範囲を超えてねじ込まないでください。引出しが開かなくなる場合があります。

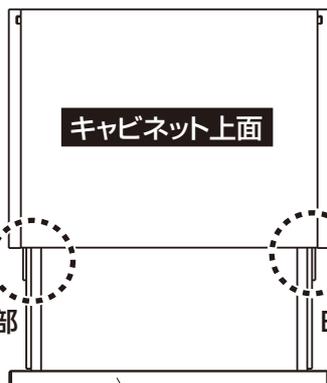
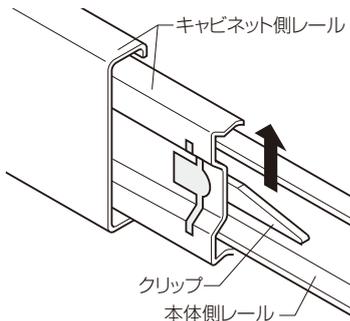


### ランドリー用引出し・スライド棚板・スライドランドリーバーの取外し方法

●製品の本体側レールのクリップを操作し、取外します。（クリップは、左右同時に操作してください。）

#### ■A部（左側のレール）

※クリップを押上げると本体側レールが外れます。



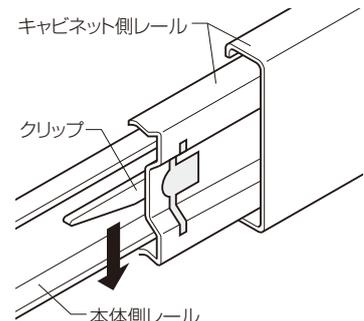
A部

B部

各製品本体

#### ■B部（右側のレール）

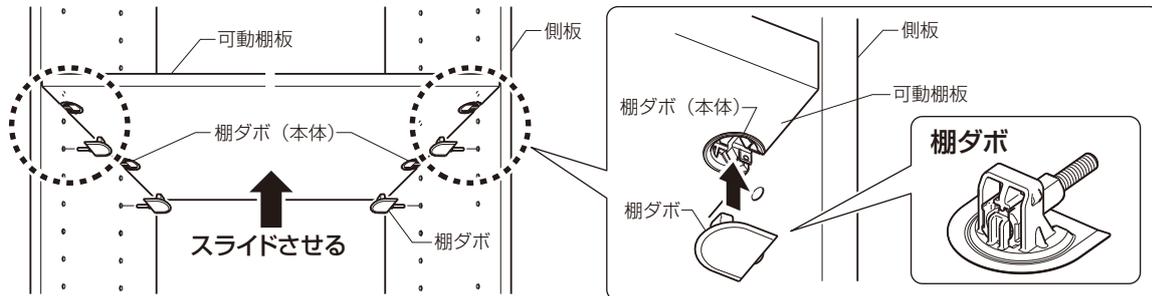
※クリップを押下げると本体側レールが外れます。



# 調整方法について

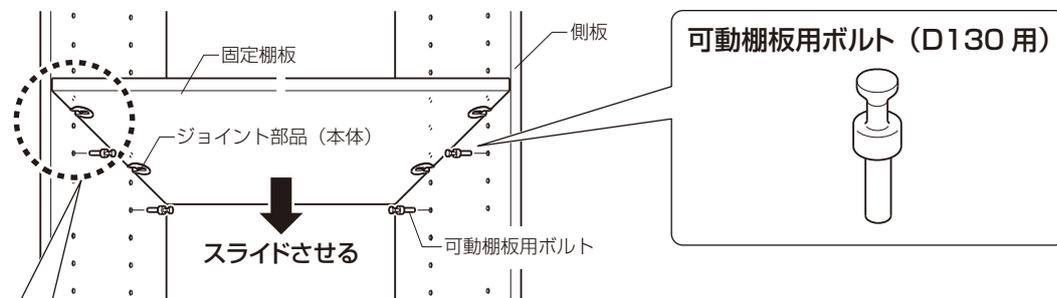
## 可動棚板の位置変更方法 (D130 を除く)

- ①可動棚板を垂直に持ち上げ、取外します。
- ②棚ダボを取外し、お好みの位置に差込んでください。
- ③可動棚板の棚ダボ (本体) に棚ダボをはめ込むようにして取付けます。

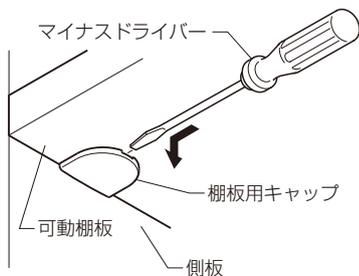


## D130 可動棚板の位置変更方法

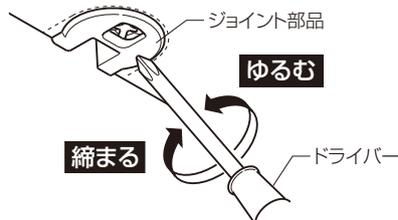
- ①～③の手順で可動棚板を取外し、可動棚板用ボルトをお好みの位置に取付けし直します。
- ①～③の逆の手順で、可動棚板、棚板用キャップを取付けます。



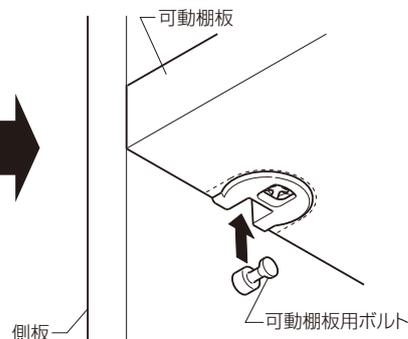
- ①棚板用キャップの中央切欠きにマイナスドライバーを差込み、キャビネットを傷つけないよう取外します。



- ②手回しドライバーを斜めに差込み、ジョイント部品のねじをゆるめます。  
※斜めにドライバーを差込んでください。ジョイント部品が破損するおそれがあります。



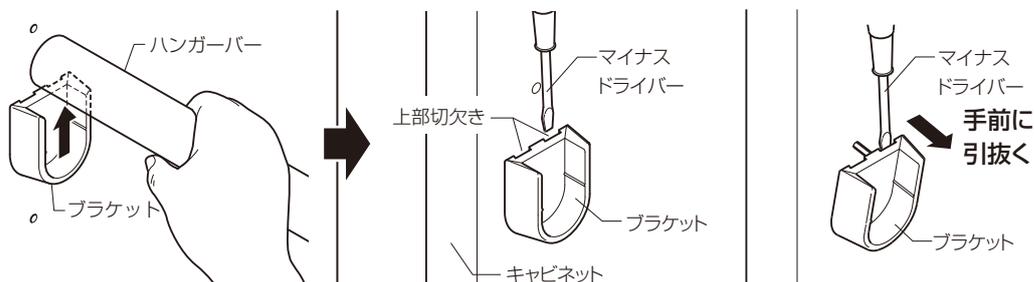
- ③可動棚板を垂直に持ち上げ、取外します。



## ハンガーバー・スライドランドリーバーブラケットの位置変更方法

### ■ハンガーバー位置変更

- ①ハンガーバーを上を持ち上げ、ブラケットから抜きます。
- ②ブラケット上部切欠きにキャビネットを傷つけないようにマイナスドライバーを差込み、手前に引抜いて外してください。
- ③ブラケットをお好みの位置に差込んでください。  
※左右のブラケットが水平になるように取付けてください。
- ④ハンガーバーをブラケット奥まで押込んでください。



# アフターメンテナンスについて

## 保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。  
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

## 修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日  
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

## 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

## 点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

## 点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。  
技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。  
部品代は、修理に使用した部品代です。  
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

## 修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。  
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

## 交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、弊社オフィシャルサイトよりご注文いただけます。  
リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

# 商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■対象商品…………… インテリア建材商品

■保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)  
注1)改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。  
注2)分譲住宅(建売住宅)の場合、建築主さまへの引渡し日とします。

■保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

■免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化(使用に伴なう消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴なうサビ、カビなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合)
- ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
- ⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
- ⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑫本来の使用(一般住宅同等の環境下で使用される建築物)の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問合わせください。

株式会社 LIXIL

※商品のお問合わせ・ご相談のため、メモしておく便利です。

■販売店名

TEL ( )

■工務店名

TEL ( )

# MEMO

---

# MEMO

---

## 株式会社 LIXIL

---

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで  
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

---

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は  
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
- 

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで  
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

---

### 安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

### 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

---

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

## 株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

取説番号	MAN-606B	事業所コード	NTC2	2018.1.15 発行
------	----------	--------	------	--------------

